

第2回土木科学シンポジウム開催案内

～ 新潟大学異分野融合(U-go)プロジェクト ～

2019年11月29日（金）於 cafe&party SEASON（新潟市中央区）

【実行委員会】

安田 浩保

新潟大 災害復興研
河川工学

早坂 圭司

新潟大 理学部
素粒子実験物理学,ビッグデータ

大竹 雄

新潟大 工学部
設計論、地盤工学

村松 正吾

新潟大 工学部
信号処理

【主催・協力】

主催

ARCEプロジェクト

協力

新潟大 BDA研究センター
新潟大 研究企画室URA

【問合せ先】

安田 浩保

hiro@gs.niigata-u.ac.jp

【ARCEプロジェクトサイト】

<http://rde.nhdr.niigata-u.ac.jp/lab>



2018年の西日本豪雨に続き、2019年の台風19号により広範囲での甚大な被害が発生しました。本年は水災害の変質を多くの国民が痛感する年となってしまったように思います。本シンポジウム実行委員の研究者は、3年前に河川を自律的に制御する新技術の開発を目的としたARCEプロジェクトを開始しました。その後、水災害の繰り返しを突きつけられ、ARCEプロジェクトの目標水準を一段階引き上げ、人類の理想である様々な自然災害を無害化する「土木科学」の確立を決意し、2018年11月に第1回の土木科学シンポジウムを開催しました。土木科学は、ARCEプロジェクトが提案する新しい学問で、最新の科学技術の導入によって、既存の土木工学に混在する種々の経験的手法を科学的手法へ転換することで不確実性を縮減し、社会活動における自然災害の脅威の除去や生産性の飛躍的な向上を目的とする学問です。

第2回となる今回は、「土木の未来を考える」をテーマとし、新潟県の建設分野のお二人のリーダーの招待講演と、ARCEプロジェクトの研究成果の紹介の二部構成としました。様々な立場の皆様の積極的なご参加と、個々の発表や土木科学の研究の方向性について、皆さまとの忌憚のない意見交換ができることを楽しみにしています。

日時・会場

- 11月29日（金）15:30-17:45（15:00から受付開始）
- cafe&party SEASON
新潟県新潟市中央区下大川前通3-2230
リバーサイドプレイス「ブリッジス」1F
電話 025-201-8741



スケジュール

- 15:30-17:50 勉強会（当日参加可能、参加費 無料）
- 15:30-16:40 招待講演（各30分程度＋質疑応答）
 1. 小野貴史様（小野組代表取締役）
未来の地域を支える「地域人財育成企業」とは
 2. 美寺寿人様（東邦産業顧問・前新潟県土木部長）
既成概念を乗り越えるためには？
- 16:50-17:50 研究成果発表（各15分程度＋質疑応答）
 3. 安田浩保（新潟大学災害復興科学研究所）
これからの川づくりの視座～日曜討論で話したかったこと～
 4. 早坂圭司（新潟大学理学部）
模型実験データの一考察～固定河道内の水の動きを解き明かす私案～
 5. 村松正吾（新潟大学工学部）
河道能動制御のモデルベース開発～データ駆動型解析がみつける未来～
- 18:30-20:30 交流会
事前登録が必要、参加費 5,000円